

# 20周年記念 第9回演奏会



2013年9月23日(月・祝日) 午後1:30開場 午後2:00開演

志木市民会館パルシティホール

後援

埼玉県合唱連盟、志木市、志木市教育委員会  
公益財団法人志木市文化スポーツ振興公社、志木音楽サークル連絡会

## 未知への挑戦を続けて

ドン・キホーテ男声合唱団団長 渋谷 弘

日頃、ドン・キホーテ男声合唱団をご愛顧頂き有難うございます。平成4年12月結成以来、20年の歳月が流れました。お陰様でやっと大人の仲間入りが出来たとも言えます。

そこでこれからの20年に向かっての第1歩として、記念演奏会を開催させて頂きました。メンバーは変わってもドン・キホーテの精神はずっと持ち続け、未知への挑戦を続けて行きたいと思えます。

個性豊かなメンバー共々、「楽しい男声合唱」をテーマに精進を続けてまいりますのでこれからも皆様の一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

今日の演奏会を楽しくお過ごし頂けますよう団員一同精一杯頑張ります。どうぞご期待下さい。

## 20周年記念演奏会に寄せて

埼玉県合唱連盟理事長 北川 裕

ドン・キホーテ男声合唱団20周年記念第9回演奏会が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。ドン・キホーテ男声合唱団は、平成4年12月に創立され、本年20周年を迎えられました。

創立以来埼玉県合唱連盟に加盟され、埼玉県合唱祭、彩の国男声コーラスフェスティバル、埼玉ヴォーカルアンサンブルコンテスト等に積極的に御出演をいただき、本連盟の男声合唱団をリードする団体として、本連盟の発展のために御尽力いただいておりますことに、衷心より感謝を申し上げます。

本日は、彩り豊かな3つのステージによりまして、“ドン・キホーテ”の男声合唱の魅力を十分ご披露いただけるものと思っております。結びに、本日の演奏会の御成功と“ドン・キホーテ男声合唱団”のますますの御発展を心から祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。

## 響け！3世代のハーモニー

指揮者 河田 修朗

20年とひと口にいても長いようで短い道でした。平成4年志木ニュータウンの集会所で産声を上げ、皆さんの暖かい目に見守られながら早や成人になりました。当初のメンバーは合唱経験のない方が多く、できるのかなと思っていましたが、意欲は十分でそれがそのまま歌声に現れていました。(荒々しくも不思議なハーモニーでした。) 団発足当初から学生時代合唱指揮を経験した私が指導？しており、プロの指導者が必要になるまでと考えていましたが、数年のブランクはあったもののいままで指揮者をやらせていただいております。

メンバーも多くが 40 代であった発足当時から 60 代となりました。またメンバーの入れ替わりもありましたがドンキサウンドは健在です。そして第 1 回演奏会の挨拶でもふれましたようにいつの日か 3 世代のサウンドを響かせるのが夢でした。

今日の演奏、平均年齢は高いのですがメンバーとしては 3 世代でのドンキの響きをお届けできるようになりました。ぜひ 20 年の熟成した、そして夢であった 3 世代のドンキサウンドをお楽しみください。

## 演奏プログラム

ステージ紹介 河田 修朗

オープニング曲 少年時代 作詩：井上陽水 作曲：平井夏美・井上陽水 編曲：清水 昭

### 第 1 ステージ 愛唱歌

<b>ständchen</b> (小夜曲)	ヴォルフ 作詩 マルシュネル 作曲
秋のピエロ 男声合唱組曲『月光とピエロ』より	堀口大学 作詩 清水 脩 作曲
柳河 男声合唱組曲『柳河風俗詩』より	北原白秋 作詩 多田武彦 作曲
雨 男声合唱組曲『草野心平の詩から』より	草野心平 作詩 多田武彦 作曲
ふるさと	室生犀星 作詩 磯部 俣 作曲

20 年間歌いつづけた曲の中から団員の投票で選ばれた曲をお送りするステージです。外国の曲（ドイツのリーダーシャッツ、黒人霊歌、シーシャンティー等）、日本民謡、日本の愛唱歌、合唱組曲などたくさん候補曲の中から選ばれた 20 年の想いが込められた曲たちです。

それでは、第 1 回演奏会のスタート曲にちなんで ständchen (小夜曲) で幕開けいたします。

### 第 2 ステージ 男声合唱組曲

男声合唱のための唱歌メドレー『ふるさとの四季』 源田俊一郎 編曲

「ふるさとの四季」、このタイトルだけでは？の方が多いかもかもしれませんが皆さん一度は口ずさんだことのある曲のメドレーになっています。故郷への想いを歌う「ふるさと」が終わると、春から冬までの季節ごとの曲が回想シーンのように歌われます。

いまだ津波、原発事故のつめ跡が残る東北沿岸に美しい故郷を取り戻し、被災者の皆さんが安心して故郷に戻れることを祈りながら歌います。

### 第 3 ステージ 日本の民謡

音戸の舟唄	広島県民謡 福永陽一郎 編曲
大漁祝い	福島県民謡 清水 脩 作曲
佐渡おけさ	新潟県民謡 清水 脩 作曲
大阪子守唄	清水 脩 作曲 福永洋一郎 編曲
大漁唄い込み (斎太郎節変奏曲)	宮城県民謡 竹花秀昭 編曲

「これぞドンキだ」というものを創りたいとの想いで歌い継いできました。それが日本人の心のふるさとともいふべき「日本民謡」です。

オーケストラでも十八番といわれる曲をもっているのと同じように、ドンキの十八番にするべくレパートリーも増やしてきました。これからは北は「そうらん節」から南は「おてもん」までずーっと歌い続けていきます。